

より対面に近いオンライン相談の実現へ 日本精機株が開発したデジタル新製品を試験導入

このたび、日本精機株式会社から、同社が新たに開発した視線一致カメラシステム「テレイーズ」を、市の業務で活用してほしい旨の申し出があったため、市として試験的に導入することとしました。

現在、戸籍や国民健康保険料の納付などに関する相談のために市民が支所の窓口へ来庁した場合は、必要に応じて本庁の職員がWeb会議システムを活用して対応していますが、ディスプレイに映る相手に向かって話をする際に、視線が合いにくいという課題がありました。本システムは、対面相談の基本である「相手の目を見て話をする」ことが実現できるものです。より対面に近い形でオンライン相談業務ができることで、市民の皆様により安心感を持って相談いただくことができます。

試験導入後は、運用の状況や効果等を検証した上で、本格導入について検討します。

1 「テレイーズ」の試験導入について

(1) 試験導入の対象業務

次の相談業務のうち、支所に来庁した市民と本庁の職員がオンラインにより行うもの

- ・ 戸籍に関する相談
- ・ 国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の納付に関する相談 など

※ 上記のほか、打ち合わせ等のWeb会議用として市役所庁舎内で活用予定

(2) システムの設置場所

市民課、国保年金課共用スペース（アオーレ長岡東棟1階）

等市役所庁舎内

(3) 試験導入の期間

令和4年12月5日（月）から当面の間
（日本精機株のご厚意により無償貸与を受けてシステムを使用）



2 「テレイーズ」の特長・概要

詳細は別紙のとおり

（ 問い合わせ
デジタル行政推進課 杉本 電話0258-39-2205 ）